

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 診療放射線技師学科(昼間部) | | 科目区分 | 基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|----------------|-----------------|----------------------|---------|-----------------------|---------------|
| 科目名 | 文章・表現 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対象学年 | 1年次 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 第3校舎 801教室 |
| 担当教員 | 櫻井 玲 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 一般文書や論文・レポート作成には「文章を書く力」が不可欠である。様々な文書の実例を参考に文章を作る技術を身につける。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 学習の評価は、レポートの成績、平素の学習状況、出席状況を総合的に評価し、その基準は、以下のとおりとする | | | | | | |
| ①素点 70% (レポート:課題テーマは授業中に示す) | | | | | | |
| ②出席評価 20% | | | | | | |
| ③平常評価 10% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 教科書:特に使用しない。 参考図書については、授業内でその都度、紹介する | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 文書を書く力の養成には、読む力も必要であるため、できるだけ活字媒体等を読むように心がける。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 周囲にある文章表現(テレビ、新聞、雑誌、広告チラシその他)に注意を払い、理解力、表現力の向上に努めること | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | オリエンテーションの内容を理解する | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 授業の導入 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 「文章」を学ぶ意義について理解する | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 文章を学ぶことの大切さ | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 正確に伝えることの難しさについて理解する | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 自分の意思を文章で伝えることの難しさ | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 「記述の順序」について理解する | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 自分の意思を文章で伝えることの難しさ | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 「文書の組み立て」について理解する | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 自分の意思を文章で伝えることの難しさ | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|--------|-------------|---|---------|----------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 「文の構造と文章の流れ」について理解する | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 自分の意思を文章で伝えることの難しさ | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | レポートの書き方について理解する 1 | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 実験レポートの書き方 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | レポートの書き方について理解する 2 | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 実験レポートの書き方 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | レポートの書き方について理解する 3 | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 実験レポートの書き方 | | |
| 第10回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 与えられた課題の内容を簡潔にまとめる | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 文章を短く要約することの難しさを体感する | | |
| 第11回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 与えられた課題の内容を簡潔にまとめる | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 文章を短く要約することの難しさを体感する | | |
| 第12回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 与えられた課題の内容を簡潔にまとめる | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 文章を短く要約することの難しさを体感する | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 「わかりやすく簡潔な表現」について理解する | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 誤解が生まれないように書くことの重要性を学ぶ | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 「わかりやすく簡潔な表現」について理解する | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 「簡潔に」というが、短ければ良いというものではないことを学ぶ | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 「わかりやすく簡潔な表現」について理解する | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 読みやすさへの配慮について学ぶ (字面の白さ、漢語・漢字、受身の文など) | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 診療放射線技師学科(昼間部) | | 科 目 区 分 | 基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|----------------|---------------------|-----------------------------------|---------|--------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 文章・表現 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年次 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 第3校舎 801教室 |
| 担 当 教 員 | 櫻井 玲 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 一般文書や論文・レポート作成には「文章を書く力」が不可欠である。様々な文書の実例を参考に文章を作る技術を身につける。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 学習の評価は、レポートの成績、平素の学習状況、出席状況を総合的に評価し、その基準は、以下のとおりとする | | | | | | |
| ①素点 70% (レポート:課題テーマは授業中に示す) | | | | | | |
| ②出席評価 20% | | | | | | |
| ③平常評価 10% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 教科書:特に使用しない。 参考図書については、授業内でその都度、紹介する | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 文書を書く力の養成には、読む力も必要であるため、できるだけ活字媒体等を読むように心がける。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 周囲にある文章表現(テレビ、新聞、雑誌、広告チラシその他)に注意を払い、理解力、表現力の向上に努めること | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第 16 回 | 講義 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 執筆メモについて理解する(1) | パワーポイント | 事前配布にした資料等 に目を通しておくこと | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 日付や辞書、単位記号等について学ぶ | | | |
| 第 17 回 | 講義 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 執筆メモについて理解する(2) | パワーポイント | 事前配布にした資料等 に目を通しておくこと | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 文献の引用について学ぶ | | | |
| 第 18 回 | 講義 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 執筆メモについて理解する(3) | パワーポイント | 事前配布にした資料等 に目を通しておくこと | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 原稿の書き方について学ぶ | | | |
| 第 19 回 | 講義 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 執筆メモについて理解する(4) | パワーポイント | 事前配布にした資料等 に目を通しておくこと | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 図と表の書き方、読直しと校正について学ぶ | | | |
| 第 20 回 | 講義 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 手紙の書き方について理解する | パワーポイント | 事前配布にした資料等 に目を通しておくこと | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 用件の手紙の扱い方 用件の手紙の形式 本文について学ぶ | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|--------|-------------|--------------------------|---------|----------------------|
| 第21回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 説明書の書き方について理解する | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 説明書の書き方、使用説明書について学ぶ | | |
| 第22回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 原著論文の書き方について理解する | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 科学論文の区分、原著論文の書き方等について学ぶ | | |
| 第23回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 学会講演の要領を理解する(1) | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 「読む」のではなく「話す」ということについて学ぶ | | |
| 第24回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 学会講演の要領を理解する(2) | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 話の構成やスライド原稿について学ぶ | | |
| 第25回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 学会講演の要領を理解する(3) | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 手持ちのメモ、登壇の心得等について学ぶ | | |
| 第26回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | プロフィールを作成する | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 作成の留意点等を学ぶ ※ 演習 | | |
| 第27回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 自己アピール文を書く | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 作成の留意点等を学ぶ ※ 演習 | | |
| 第28回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | エントリーシートを書く | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 作成の留意点等を学ぶ ※ 演習 | | |
| 第29回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 履歴書を書く | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 作成の工夫、留意点を学ぶ ※ 演習 | | |
| 第30回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 講座を修了するにあたりレポートを作成する | パワーポイント | 事前配布にした資料等に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | テーマ(後日、提示する) ※ 演習 | | |